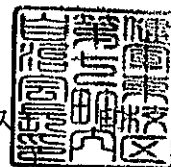


2021年3月24日

(あて先) 熊本市長

団体名 健軍東校区第7町内自治会
代表者 職名 会長 氏名

竊田 豊久



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

令和2年 4月 1日付け指令(地活)第 1-1 号により、熊本市市民公益活動支援

助成金の交付決定※を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第

21条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

くまもと・わくわく基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業

健軍東7町内コミュニティづくり

2 助成事業の実施期間

令和2年 5月3日 ~ 令和3年 3月 24日

3 助成事業の内容

子どものいる世帯を中心とした顔合わせ会

全世代楽しめるラジオ体操

「AED」に関する講座

マンション管理組合総会での自治会活動の報告・説明

全世代楽しめるクリスマス会

校区どんどや

お花見会

4 事業の成果

コロナ禍においても活動できる形を模索し、7町内のコミュニティづくりを推進した。

自治会からの情報発信ツールのLINE公式アカウントを活用した参加型イベントや、zoomを使った講習会の実施によって、オンライン上であっても楽しく一体感を感じる場を設けて親睦を図る活動を積み重ねることができた。

住民からも、「実際に顔を合わせた際の親近感が増した。」「配信を家族で楽しんでいる。」

「自宅にいながら新しい情報や正しい知識を学び、暮らしの中の安全や共助についても考える機会となった。」等の賛同の声が寄せられた。

5 助成事業の実施状況

- (1) 事業収支決算書（様式第16号）
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類等
- (3) その他参考となる資料

事業収支決算書

◆収入決算

項目	金額	内訳
会費	0	
当該事業による収益	0	
当該事業に対する寄附・協賛金	0	
その他の自己資金	2,641	
当該事業に対する助成金額	100,000	
その他の補助金、助成金等【D】	0	
合計	102,641	

◆支出決算（事業別）

事業名 支出費目	事業1	事業2	事業3	合計
	健軍東7町内コミュニティづくり			
人件費	0			0
報償費	0			0
旅費	0			0
人件費等合計【A】	0			0
役務費	0			0
使用料・賃借料	0			0
事務・消耗品費	102,641			102,641
委託費	0			0
合計	102,641			102,641

助成申請上限額（助成種別：スタートアップ助成）

$$[\text{事業費 } 100,000 - \text{控除額 } 0 \text{【E】}] \times 1 = 100,000$$

※控除額・超過人件費（人件費等の合計が事業費の1/2を超えた部分）とその他助成金の合計

人件費等の合計【A】	0	➔	超過人件費【C】※	0
事業費の1/2【B】	51,321		その他助成金【D】	0
超過人件費【A-B】…【C】	-51,321		控除額【E】	0

※マイナスの場合は0円

◆支出内訳（事業別）

事業1 [健軍東7町内コミュニティづくり]

人件費	0
報償費	0
旅費	0
役務費	0
使用料・賃借料	0
事務・消耗品費	インクカートリッジ (5セット) 29,323、ブルーシート 10,930、カセットコンロ (2台) 10,116、ラジカセ 4,640、茶菓・レクレーション活動の材料・参加賞 (4,432、4,484、2,462、18,299、7,220) 新型コロナ感染予防対策用品・ホチキス・ビニール袋・スタンプ・スタンプ台・コピー用紙 (5,317、3,000、2,418)
委託費	0

事業2 []

人件費	
報償費	
旅費	
役務費	
使用料・賃借料	
事務・消耗品費	
委託費	

事業報告書

実施年度	2020年度	
事業名	くまもと・わくわく基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業 健軍東7町内コミュニティづくり	
事業期間	2020年5月3日 ～ 2021年3月24日	
事業の目的	多くが「個」で生活している健軍東7町内住民同士の顔の見える関係づくりと、不測の事態にも対応できるコミュニティの構築。	
具体的な 事業内容	<p>住民同士が顔を合わせて親睦を図り、コミュニティづくりのできる場を年間通して企画して、健軍東7町内に加入していない世帯も含めた全住民を対象に実施した。</p> <p>①親近感を持って顔や名前を覚えられるようなレクリエーションなど、親睦を図りながら楽しく一体感のある場を設け「顔の見える関係」をつくる会を開催した。</p> <p>②「防災やAED」などについて新しい情報・正しい知識を学び、「共助」について考える機会となる講座を開催した。</p> <p>③「周辺居住者とのつながり」や「地域への愛着」を培えるように健軍東7町内として地域の行事への参加を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大のため実施できなかった。</p>	
	活動時期	活動内容
	2020年6月11日 (新型コロナの影響で延期実行)	子どものいる世帯を中心とした顔合わせ会の準備、開催 各家庭へ案内の配布・ポスター掲示(55部) レクリエーション準備 インクカートリッジ(2セット)、参加賞、ブルーシート、新型コロナウイルス感染予防対策用品、レクリエーション材料の購入
	2020年8月3日 ～8月7日	全世代楽しめるラジオ体操の準備、開催 各家庭へ案内の配布・ポスター掲示(55部) 健軍東小学校へ会場使用の申し込み ラジカセ、シール、参加賞・レクリエーション景品の購入
	2020年8月23日 (新型コロナの影響で延期実行)	「AED」に関する講座&顔合わせ座談会の準備、開催 東部まちづくりセンターへの協力依頼、 東消防署へ講師依頼、東区役所へ会場使用の申し込み、 各家庭へ案内の配布・ポスター掲示(55部) 茶菓・参加賞の購入
	2020年10月上旬	校区運動会・・・(新型コロナのため中止)
	2020年12月2日 (新型コロナの影響)	マンション住民へ自治会活動の報告・説明 マンション管理会社、管理組合との打ち合わせ

	響で総会が書面議決となり期日変更の実施)	各家庭への活動報告の配布 (55部) コピー用紙、スタンプ、スタンプ台、インクカートリッジ(3セット)の購入
	2020年12月12日	全世代楽しめるクリスマス会の準備、開催 各家庭へプログラムの配布・ポスター掲示 (55部) レクリエーションの準備 参加賞、レクリエーション材料、景品の購入
	2021年1月10日	校区どんどやの準備・・・(12/19中止決定) 炊き出し訓練のカセットコンロの購入
	2021年3月14日	お花見会の準備、開催 各家庭へ案内の配布・ポスター掲示 (55部) レクリエーションの準備、 参加賞の購入
実施場所	マンションエントランス、健軍東小学校、東区役所	
協力団体	東部まちづくりセンター、東消防局	
事業の効果 ・公益性	<p>・多くが「個」で生活している健軍東7町内の住民の間で、コミュニティが活性化するとともに、生活における安心感の向上、共助の育成につながった。</p> <p>・自分たちの活動がロールモデルとなり、同様の分譲マンションのコミュニティづくりが活性化したり、働く世代が前向きに自治会活動に関わったりするようになり、7町内を超えて地域や熊本市の自治会活動の活性化につながる。</p>	
次年度以降の事業展望	<p>○住民の自発的活動</p> <p>1. 自由に意見を交換できる信頼関係が構築されることで、生活環境などについての問題意識の共有や改善活動を自発的にできるようになる。</p> <p>2. 子ども社会での上級生と下級生とのタテのつながりを創生することにより、子どもは社会性を身につけ、大人は余裕をもって子どもたちを見守れるようになる。</p>	

	<p>○活動内容の発展</p> <p>1. 共助、防災について学んだことを活かし、自分たちの環境に特化・最適化した活動に発展させる。</p> <p>2. 校区行事への継続参加により、次の世代がスムーズに地域と連携できるようになる。</p>
<p>事業への想い (当事業によってどのような熊本市にしていきたいか)</p>	<p>健軍東7町内を構成する当分譲マンション住民は、2018年に分譲された当初、近隣の町内会に受け入れてもらうことができないまま生活が始まった。しかし、住民同士の「顔の見える関係」を作ったり、校区の中で「周辺居住者とのつながり」を作ったりすることは、子育てや長く暮らしていくのに不可欠だという思いのある同志で健軍東7町内を立ち上げ、次の2点をコンセプトに運営している。</p> <p>①いざというときに支えあえる「防災・防犯」</p> <p>②地域行事に参加する経験や思い出を通しての「子どもたちのふるさとづくり」</p> <p>しかし、人とかかわることや自治会活動が面倒と考えている人たちも多く町内自治会への賛同者が少ない現状がある。そこで、健軍東7町内に加入していない世帯も含めた全住民を対象に次のような場づくりを行う。</p> <p>①住民同士が顔を合わせて楽しく親睦を図りながら顔の見える関係 や、いざというときに助け合える信頼関係を築くコミュニティづくりの場</p> <p>②防災、防犯、ふるさと作りについて新しい情報・正しい知識を学び、共助について考える場</p> <p>③周辺居住者とのつながりや地域への愛着を培えるように健軍東7町内として地域の行事に参加する場</p>

顔の見える関係と共助に対する意識の変化は、自治会活動への賛同者を増やしコミュニティづくりの活性化につながる。その効果は地域にも波及し、地域全体で子どもたちを見守ることや、参加者が少なくて継続が難しくなりつつある地域の行事を活性化させることができ、子どもたちが安心してくらし、地域の中での楽しい経験や思い出を重ねながら成長できる「子どものふるさとづくり」にもつながっていくと考える。

健軍東7町内では実際に顔を合わせてのコミュニティづくりを進める一方で、運営面ではLINEのオフィシャルアカウントアプリを使ったコミュニケーションを取っており、働いている世代が自治会活動の運営・参加できるように回覧板や役員の定例会をなくすなど、シンプルで負担感を少なくした持続可能な仕組みづくりを進めている。「自分たちのできることから実践し、自分たちが楽しく活動する」ことを積み重ねて持続可能なコミュニティづくりを進めているが、活動しやすい環境を整えて2年目の活動を充実させたい。健軍東7町内の住民のコミュニティが活性化するとともに、自分たちの活動がロールモデルとなり、同様の分譲マンションのコミュニティづくりが活性化し、より多くの働いている世代が前向きに自治会活動に関わるようになるなど、健軍東7町内を超えて地域や熊本市の自治会活動の活性化につなげていきたい。